

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ土浦第2支援教室			
○保護者評価実施期間	2025年2月10日		～	2025年2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数)	25名
○従業者評価実施期間	2025年2月12日		～	2025年2月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	カリキュラムの内容がしっかりしている。	支援員で話し合いを行い、お預かりしているお子様のレベルに合わせて提供している。また、今まで携わってきた職種が違うスタッフが意見を出し合えるようにしている。	今後も職員間で話し合いをして、1人で出そうとせずみんなで取り組んでいくことで良い案を考えていけるような雰囲気作りをする。
2	児童に合わせて個別計画と支援を提供している。	1人1人違う課題を理解し、計画を立案している。それに合わせて支援内容を考えている。	保護者様と面談を通して、希望やできることを考えながら社会生活が充実するような内容を入れられるようにしていく。
3	事業所の説明、支援内容の説明がされている。	納得がいくまで説明をすることや不安なく過ごせる場所となるような説明を心掛けている。	1人ではなく職員全体が同じようにできることで、預けるご家族の不安をなくせるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室以外の児童クラブや地域の子ともと交流することが難しい。	未就学児を対象とした児童館が多い地区でもあり、問い合わせもしてみが怪我が生じた時には責任がどちらかになるのかという問題が生じている事実がある。	児童館を県外にも目を向けていく必要がある。
2	避難訓練やマニュアル、イベント等では、兄弟も参加可能であることなどの告知が保護者に周知されていない。	紙面での告知だけでは、忙しい保護者には目に止まらない可能性がある。送迎時に会えずに直接伝えていない。	HUG等でも全体共有を図っていく。また、内容を具体的に記して記載していく。
3	家族が参加できるイベントやカリキュラムを組んでいても、「いいえ」「わからない」の回答がある。	夏祭りでは、兄弟で参加するものではなく地域でお店屋さん体験であったため、楽しめる機会がなかった。	夏祭りをイベントとして行い、家族で参加できるものを考えしていく。